

テーマ	遊びによる子どもの育成
-----	-------------

区市町村	あきる野市
児童館名	多西児童館
活動名	多西一輪車ダンスクラブ
目的	一輪車ダンスを通して子どもが自らの遊びの質を高めたり、異年齢集団や他地域の小学生との関わりの中で、さらに次元の高い活動を求めて、自発的・主体的に取り組もうとする態度を育む。
主な対象	小学生
活動の経緯 実践内容	<p>〈実践内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多西一輪車ダンスクラブは、隣接する小学校の2～6年生、約25名の部員で年間20回程度、年度末に開催される『市内児童館こども芸術祭』での発表を目標に活動を行っている。 ・練習はほぼ毎回全員出席で、高学年になるほど「もっとやりたい」、「みんなに観てもらいたい」の意欲が高まり、低学年のよい手本になっている。中でも低学年から続けている子どもの技術的、精神的成長には目を見張るものがある。 ・夏・冬休み中の年間2回の交流会では、品川区とあきる野市の混合グループを作り、協力して振り付けを完成させ、ミニ発表を行う形で交流を図っている。 ・ミニ発表会には、学童クラブの子どもたちが観客として参加し、模範演技やグループ発表に強い衝撃を受けている。特に男子児童の驚きが顕著で、本館の一輪車遊びが女子に偏らない要因となっている。 ・『市内児童館こども芸術祭』に向けて、事前に保護者会を開いて、保護者の協力を仰いでいる。関心は高く、衣装の準備や送り迎え等にも熱心で、他では得がたい経験ができることに称賛と感謝の言葉をいただいている。 ・発表会本番では「難しいことをやるんですね」等、感嘆の声が上がり、拍手喝采を浴びた子どもたちはこの上ない達成感を味わっている。難易度が高い分、成功の喜びもひとしおである。

効果や課題

- ・一輪車は運動の得意不得意を問わず、遊びながら平衡感覚や集中力を養い、乗れたときの達成感が絶大であるため、確かな自己肯定感を育む。これにより、館全体に前向きで落ち着いた雰囲気が充満するようになった。
- ・異年齢集団や他地域の小学生との関わりの中で、さらに次元の高い技や活動を求めようとする自主性、自発性が育っている。
- ・本館の学童クラブには百余名の児童が在籍しており、交流発表会に触発されて練習を始める子どもが多い。その結果、年間を通して行っている一輪車検定では、全体の6割以上の子どもが自力走行に合格し、館の特色ある活動として一輪車遊びが盛んに行われている。
- ・近年は、一輪車ダンスクラブ員以外の子どもたちからも、自主制作した演技を学童クラブの『入会式』などで披露したいという声上がるようになった。日頃の遊びが高じて自発的に館の行事に関わろうとする態度が芽生え、館の活性化につながっている。
- ・演技を目の当たりにした新入生や保護者の反響は大きく、児童館・学童クラブへの期待と信頼が一気に高まることを実感している。
- ・地域の児童館として、地域行事への参加や、市内の児童館と連携した交流活動を模索していきたい。
- ・今後、品川区の一輪車クラブを訪問する計画があり、双方向の交流活動に発展することが期待される。

(むずかしい技に挑戦)



(1年生に教える2年生)



活動写真

(『あきる野市児童館子ども芸術祭』で



(品川区の一輪車クラブと交流)



児童館のプロフィール

児童館名	多西児童館
運営主体	あきる野市
所在地・電話番号	東京都あきる野市草花2572番地
開館日・時間・休館日	月～土曜日 午前9時～午後6時 日曜日、祝祭日は休館となります。